

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合 (’03/’05/’07ウォシュレット一体形便器 (CES980・982・986用))

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため) 特殊コードラベルの品番は、**特殊コードラベル一覧***をご確認ください。

注) 補修部品の供給が終了しているため、特殊コードラベルは発注不可です。

2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タ イ 1 プ) 1	(タ イ 2 プ) 2	正 規 品	(タ イ 1 プ) 1	(タ イ 2 プ) 2
(タ イ 3 プ) 3	(タ イ 4 プ) 4	(タ イ 5 プ) 5	(タ イ 3 プ) 3	(タ イ 4 プ) 4	(タ イ 5 プ) 5

3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、[TOTOメンテナンス](#)へご依頼下さい。(有償)

《<本体側の設定方法>》※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォッシュレット本体側)

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順 1

本体操作部の **運転** (入/切) を10秒以上押し続ける

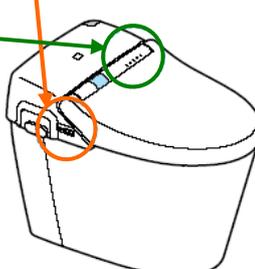
⇒10秒後に全てのランプが**2秒間**点灯します。

本体操作部

● 運転 ● 便座 ● 脱臭 ● 節電	緑色全点灯
↓	
● 運転 ● 便座 ● 脱臭 ● 節電	節電→橙色点灯 その他→緑点灯
↓ 《下図は例です》	
○ 運転 ● 便座 ○ 脱臭 ○ 節電	ランプが点滅したらやり直してください。

本体操作部

運転 入/切	流す 大	ビデ 入/切	おしり 入/切
-----------	---------	-----------	------------



手順 2

運転 (入/切) を押したまま本体の全ランプが点灯(2秒間)すると、
すぐに **ビデ** (入/切) を5秒以上押す。

↓

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

運転 入/切	流す 大	ビデ 入/切	おしり 入/切
-----------	---------	-----------	------------

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順 3

運転 (入/切) を押したまま、**おしり** (入/切) を押す。

↓

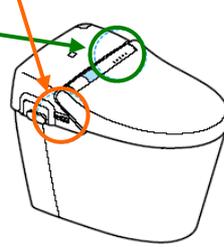
おしり (入/切) を押す度に標準→特1→特2…特9→標準
と設定が切り替わります。

本体表示部

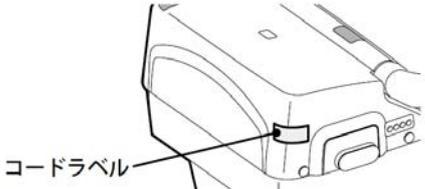
LED種別	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
節電(タイマー・おまかせ)	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	◎
脱臭	◎	◎	×	×	◎	◎	×	◎	◎	×
便座	◎	◎	◎	◎	×	×	×	◎	◎	◎
運転	◎	×	◎	×	◎	×	◎	◎	×	◎

◎…点灯 ×…消灯

運転 入/切	流す 大	ビデ 入/切	おしり 入/切
-----------	---------	-----------	------------



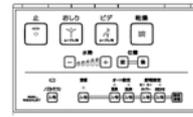
注意!! 特コードを設定する場合は、リモコン側の設定が特5までしかできませんので、本体側の設定も特1～特5で行ってください。

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)	
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。 </div>	運転 <input type="radio"/> 入/切 から手を離れた時点で設定したコードになる。
5	 <p>コードラベル</p>	ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

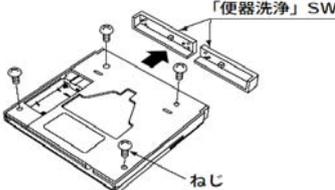
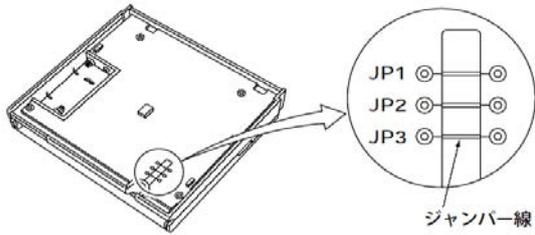
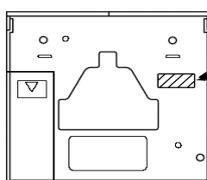


左図リモコンがセットされている 場合のリモコン設定方法

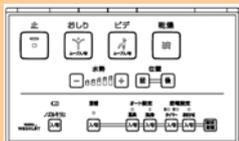


上図『補修品専用リモコン』の設定方法は、次ページをご参照ください。

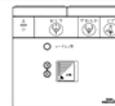
<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																												
1	 <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。 ③「止」SWを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (乾電池が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!! 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div>																												
2	 <p>「便器洗浄」SWをはずした後、リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																												
3	 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!! ◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div> <p style="text-align: center;">◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジャンパー線 JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上の3本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特5へ切り替える。</p>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	ジャンパー線 JP1	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5																							
ジャンパー線 JP1	◎	×	◎	×	◎	×																							
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎																							
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×																							
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付けた後、「便器洗浄」SWを取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れて、リモコンはリモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																												
5	 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>例 リモコンコード特1 このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div> <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																												

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。
※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)



『補修品専用リモコン』がセットされている場合のリモコン設定方法



上記のリモコンの設定方法は、前ページをご参照ください。

<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																				
1	<p>単3形乾電池 2個</p> <p>電池カバー</p>	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。</p> <p>②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <p>③「止」SWを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (電源が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <p>ご注意!! 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>																																			
2	<p>ねじ</p>	<p>リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p> <p>◆裏板を外す際は、上側から外してください。 (下側から外すと外れにくい場合があります。)</p>																																			
3	<p>◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	<p>ご注意!!</p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> <p>リモコン基板上の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特5へ切り替える。</p> <p>*補修品専用リモコンではジャンパー線が4本ありますが、本体側で特コードを設定する場合は特5までしか利用できませんので特1～特5内で設定を行ってください。</p>
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5																															
JP1	◎	×	◎	×	◎	×																															
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎																															
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×																															
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎																															
4	<p>電池端子</p> <p>○ (Correct)</p> <p>× (Incorrect)</p>	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れてリモコンを取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p> <p>ご注意!! 裏板を取り付ける前に、電池端子が正しく取り付けられていることを確認してください。</p>																																			
5	<p>例</p> <p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p>	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																			

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。
 ※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)